

石井っ子だより

平成28年12月9日発行

12月号

発行責任者 紺野 宗作

頑張った石井小の子ども達！

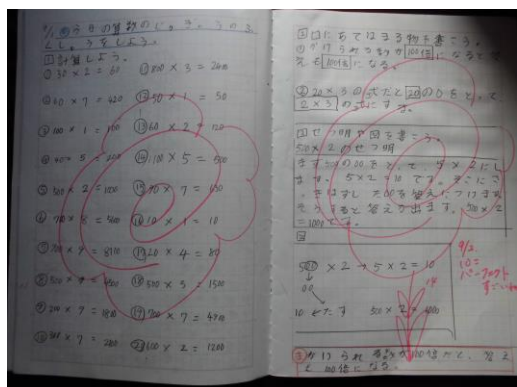


本校の課題の一つに体力低下があります。2学期は、業間の運動タイムなどで運動に親しむ時間も増え、昼休みなども元気に校庭で遊ぶ姿が昨年より格段に増えました。特に、二本松市水泳大会と二本松市駅伝大会のどちらの大会も、市内の小学校で1番多くの人数をエントリーすることができました。運動の得意不得意関係なく、石井小みんなで体力向上に向けて頑張った証です。すばらしい成果だったと思っています。

また、石井っ子発表会の発表は昨年にも増して内容的にすばらしい発表だったと感じています。各学年ごとに発表のスローガンを設け、子ども達自身が主体的に取り組んだからだと思います。主体的に取り組むことにより、先生に言われたことを忠実にやるのではなく、自分たちでアイデアをだしたり、工夫したりする場面が見られました。子どもを成長させるためには、子どもの主体性を伸ばすことがいかに大事かを私たち教師が再認識しました。

さらに、10月からスタートしたノーメディアチャレンジ週間と家読（うちどく）運動。大石PTA会長のリーダーシップにより実施できました。この取組について多くの保護者の皆さんから、「この取組をこれからもぜひ続けていきたい」といううれしいお知らせをいただきました。そして、「家読（うちどく）をやるようになってから子どもの笑顔、家族の笑顔が増えました」というお便りもいただきました。メディアに毒されず、読書に親しむ明るい子どもになってほしいです。

自主学習をやってくる子が増えています！



今年度から1年生から自主学習を行っています。家での勉強は宿題だけやればよいという考えだと子どもの学習に対する主体性が育たないからです。個別懇談時の学習ノート展でご覧いただいたように内容が充実している子が増えて来ています。

学習する前に自主学習のめあてを書き、学習が終わると学習したことを自分で振り返る。そんな習慣が身に付いている子どもも増えて来ています。ただなんとなく学習するのではなく、めあてを立てて目的感を持った学習は学力を高めます。

自己肯定感を高めてたくましい子どもの育成を目指したい！

石井小の子ども達の「自己肯定感」が低いと感じることがあります。そのため学校では、子ども達のよさを認め、自己存在感や自尊心を持たせるために様々な取組をしています。以前にも紹介しましたが、特に力を入れて行っていることが「きらりカード」の実践です。友だちのよいところ、頑張っていることなどを見つけたら子どもや先生は「きらりカード」に書いてポストに入れます。その「きらりカード」を掲示したり、校内放送で紹介したりしています。(写真)この活動は、子ども達の「自己肯定感」を高めるのに有効だと感じています。

誰でも失敗したり友だちにいやなこと言われたりして落ち込むことや苦しむことはあります。自己肯定感が低い子どもは、そういう困難に立ち向かっていくことができません。自己肯定感の低い子は、自分に自信がなく常に人の顔色を気にしていたり、自分の意見をはっきりと言えず他人との関わり合いが苦手であったりするという特徴があります。逆に、自己肯定感の高い子どもは、周りの人との関わり合いも上手なので、多くの人の愛情を集めて、助けを得られ生き易いというメリットがあります。また、自分の長所も短所もポジティブに受け止められることから、自分の力で人生を切り開いていく力があります。子どもがたくましく生き生きと人生を送っていくためには、子どもの自己肯定感を高めていく必要があると思っています。

それでは子どもの自己肯定感を高めていく子育てはどうあればよいのでしょうか？まずは、子どもに寄り添って、話をよく聞くことが大切なのではないでしょうか。親の役割は、答えを教えることではなく、子どものつらい気持ちを理解して安心感を与えてやることです。この安心感が子どもの明日への活力とつながります。子どもは親の愛情を感じていれば、少々ストレスがあっても立ち向かって行けるたくましい子どもに育っていきます。

次に、子どもを褒めることだと思います。「褒められた子どもは伸びる」という先人の言葉に間違いはありません。子どもはどんどん褒めて育てたいものです。子どもを褒めるとき大切なことは、子どもが成し遂げた結果より、その過程で努力した姿を褒めることが最も大切です。まだ結果が出ていなくても「ちゃんと机に向かっていてスゴイね」と褒めてあげることです。子どもは自分の頑張りを認めてもらったことを喜び、チャレンジ精神が育ってきます。

学校も、「話を聞くこと」「褒めること」の2つのことを大切にしています。11月には、一人一人の子どもの教育相談の時間を設け、子どもの悩みや困っていることなどを聞きました。また、各学級では帰りの会等の時間に「今日1日で友だちのよかったところ」などを発表して学級全体で賞賛する活動などを行っています。子どもの自己肯定感を高め、たくましい石井っ子を育てていきたいです。



きらりカードの掲示